作成日：2024 年　4 月　23 日

研究協力のお願い

昭和医科大学歯科病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

アライナー治療における前歯後方移動時に様々な歯の移動様式並びにトリムラインの違いを伴う矯正力の分布に関する研究
１．研究の対象および研究対象期間 2013 年 11 月から 2022 年 4 月までに昭和医科大学歯科病院矯正歯科において歯科矯正診断のため検査を行った、もしくは矯正治療前及び治療中に歯型の模型を作製した患者さん
２．研究目的・方法 近年、矯正治療の際に審美的な矯正装置を希望する患者さんの数が増加し、アライナーと呼ばれるマウスピース型の樹脂製歯列矯正装置が広く用いられています。 しかし、アライナーによる歯の矯正は、従来の金属製ワイヤーを使用した治療法とは歯の移動が異なる様式を示すことがあります。また歯にかかる矯正力を評価した報告は未だわずかです。 我々は、アライナーによって歯にかかる力を定量的に評価し、特に前歯を後ろに下げることと歯の傾きに関する移動様式とアタッチメント（アライナーの歯への適合を強めるために設置する、歯に装着するプラスチックの突起）の有無による歯に発生する力の違いを検討する研究を計画しました。 方法は、矯正治療前の歯型の模型に、アライナーを装着した状態の模型にかかる応力を、矯正力を発生させない模型にアライナーを装着したときの応力と比較します。応力の測定にはフォトニックラティス製2次元複屈折評価装置(WPA-200-NIR)を用います。またアライナーはERKODENT®を用い、歯科用加圧成形器で作製します。アライナー作製用模型及び測定用模型は、患者さんの歯列模型データを用い、3Dプリンターで出力します。 本研究は、患者さんの診療録を用いて、これらの装置から計測した数値を、解析ソフトウェアにて評価し、歯列全体にかかる矯正力を定量的に評価することで、矯正力に与える影響を明らかにします。
３．研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 1 月 31 日まで
４．研究に用いる試料・情報の種類 ①患者背景(生年月日、年齢、性別、診断名、既往歴) ②臨床検査項目(口腔内診査、歯型の模型)

５．外部への試料・情報の提供

該当なし

６．研究組織

研究責任者　　昭和医科大学 歯学部 歯科矯正学講座　　教授　　槇 宏太郎

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：歯学部歯科矯正学講座(昭和医科大学歯科病院)　　氏名：文野　暁史

住所：〒145-8515　東京都大田区北千束 2-1-1　電話番号：03-3787-1151 内線 262(9：00～17：00)